



## 「みんなで考える・・・秘密保護法の問題点」

11月12日午後6時半から、戸塚の男女共同参画センターにて、「みんなで考える・・・秘密保護法の問題点」の、学習会を行いました。秘密保護法廃止へ戸塚区実行委員会と、9条の会戸塚区協議会の共催です。(32名参加)

はじめに、若者のSASPL(特定秘密保護法に反対する学生有志の会)が作った「特定秘密保護法」とはどんなものかを5分で解説しているDVDを見ました。(ホームページ:SASPLを見てください)そのあと、小花卉護士から、特定秘密保護法の問題点を25分で説明した後、初めての試みで、ただ聞くだけでなく、4つのグループに分かれて、みんなが話せるように、グループ・ディスカッション形式で、疑問点や、聞きたいことなどを出し合い話し合いました。



第4グループ討論の様子



小花卉護士のお話

「とても新鮮でよかった」・・・との感想  
「ビデオ、すごくわかりやすかったです。小花卉護士のお話し、はじめて聞きました。若くて、話も上手で、とても頼もしいです。」  
グループ討論のすすめ方については、  
「自分の意見が言いやすく、すぐ答えが返ってきて、自分の考えをまとめることができた。」  
「とても新鮮でよかった。」「討論が出来たのは良かったです。時間が少なすぎます。」「聞くだけより、よいと思います。」  
「このような進め方は良いと思う。自分の疑問について理解が深まる」など、時間が足りませんでした。大かたの人が良かったと答えていました。

NOを言いたい総選挙 若者ほど動きが活発?

「SASPL」のメンバーの一人、明治学院大学の奥田愛基(22才)は言う。

「施行が決まっているのに抗議しても意味ないって言われるかもしれない。けれど、もう少し長いスパンで見れば、大きく政治が変わるプロセスの一部になるかもしれない。物事を変えるためには、タフさが必要じゃないですか」

その目に、今回の衆院選はこう映る。

「安倍さんを支持しない人は『勝てる見込みがない』って言うけど、そうじゃない。選挙の結果は必ず次の選挙につながる。議席の数が変われば、与党の対応も必ず変わる」

## 戦争できる国づくりNO! 選挙で示そう!

安倍首相は「アベノミクス解散だ」と言い、自分に都合の良い数字を並べてアベノミクスを自慢気に喧伝していますが、問われるのは安倍暴走政治の全体です。

暴走政治の象徴が、憲法9条の解釈を変えて「戦争ができる国づくり」を狙う「集団的自衛権行使容認」の閣議決定です。

選挙がおわれば、戦争する国づくりのための法整備やガイドライン改定を推し進めるに違いありません。

それだけに、この選挙で「戦争できる国づくり」に、ノーの民意を示すことが大事です。

# 総選挙で問われるのは、安倍政権の暴走政治を“許すか否か”だ！

—憲法解釈変更、集団的自衛権行使容認、秘密保護法強行施行、沖縄新基地建設強行—

安倍首相が「10%への消費税増税を先送りする」ことを理由に国会を解散したことで、12月2日公示、12月14日投票の日程で総選挙に突入しました。

安倍首相は「この解散はアベノミクス解散です。アベノミクスを前に進めるのか、それを止めてしまうのか、それを問う選挙です。」と述べ、都合のいい数字を並べて宣伝しています。

政権に都合のいいものだけを争点にして、選挙が終わったらその他の問題でも信任を得たとして暴走しようという魂胆が透けて見えます。

問われるのは、安倍政権の暴走政治全体です。

「戦争は出来ない国」から「戦争ができる国」へ！

安倍政権は今年7月1日に「集団的自衛権の行使を容認する」閣議決定を行いました。

集団的自衛権とは「自国が攻撃を受けていないのに、友好国のために武力行使をする」ことであり、それを行使することは、海外で戦争することです。

年明け早々からは、その具体化をはかるため、「日米防衛協力のための指針」（ガイドライン）の改定や関連法の制定を行おうとしています。

一内閣の勝手な解釈で、「戦争は出来ない国から戦争ができる国づくり」をすすめる暴走政治を許すのか、否かが問われます。

秘密保護法施行で暗黒の秘密国家にしているのか！

昨年12月6日深夜、国会周辺で市民による大規模な抗議行動が行われている中で、安倍政権は秘密保護法を強行し、同法の施行を12月10日にすることも強行決定しました。

防衛、外交などの情報を「特定秘密」に指定し、情報を取り扱う公務員などのプライバシーまで調査し、万一情報を漏らせば厳罰に処する法律です。

国民も「特定秘密」を知ろうとすれば処罰される恐れがあります。

国民には何が秘密かもわかりません、まさに国民の目、耳、口をふさぎ「知る権利」を奪う軍事立法、弾圧立法です。

国民は治安維持法によって弾圧下におかれ、大本営発表だけしか情報がないまま、あの悲惨な戦争に突き進んでいった戦前・戦中のような暗黒の秘密国家にしてよいのかが問われます。

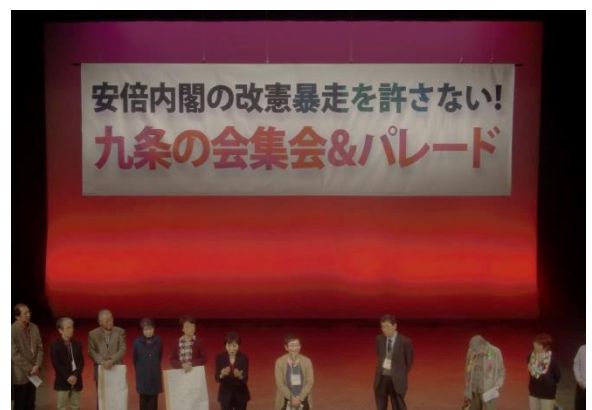
沖縄県知事選で新基地反対！の候補が圧勝  
民意を無視する安倍政権

沖縄・辺野古沖米軍新基地建設を最大の争点にして行われた11月16日投票の沖縄県知事選挙は、「オール沖縄の建白書」に沿って「新基地建設ノー」を掲げる翁長雄志さんが圧勝しました。

にもかかわらず、安倍政権は「政府の立場は全く変わらず粛々と進めていく」（菅官房長官）といって新基地建設をあくまでも続けようとしています。

もとより沖縄に駐留する米軍基地の沖縄海兵隊はベトナム戦争やイラク戦争への派兵に示されるように、「日本防衛」とは無縁の海外侵攻が任務の「殴り込み」部隊です。

国が沖縄の民意を踏みにじって、そんな米軍新基地建設を強行しようとすることは、もはや民主主義国家と言えるのかが問われる問題です。



日比谷公会堂にて

10月24日九条の会の「安倍政権の改憲暴走を許さない九条の会集会&パレード」が行われ、2,500名が参加しました。（写真）

戦後70年の平和の大きさー9条を語ろうー  
お話し 映画監督 高畑勲さん(スタジオジブリ)  
日時 2014年12月13日(土) 14時～  
12時半から整理券配布します。

会場 横浜弁護士会館 中区・日本大通り9番地  
主催 青年法律家協会勉強合同部会神奈川支部

東戸塚9条の会勉強会 12月6日10時からです  
9の日宣伝 12月9日 午後6時から 東戸塚駅